

つぼみ保育園の保護者の皆様へ

2022年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

園の方針を示す、中期計画と連動した単年度計画がわかりやすく策定されています

令和4年から5年間の中期計画が策定され、園が取り組むべき課題や目ざす姿を年度ごとに示し、全職員の共通認識が得られています。園を取り巻く環境は子育て世帯のライフスタイルや価値観の変化によってさらに保育の充実が求められると分析し、子どもの「生きる力」を育む事、保護者の気持ちに寄り添う事、地域に根差した情報発信基地となる事を目ざしています。その取り組みが中期計画、単年度事業計画に連動し策定されており、運営理念、具体的な10の重点運営方針と6つの重点サービス計画、指標となる目標利用率をわかりやすく示しています。

子どもたちの心身の成長を願い、健康体育、わらべうたなど特色ある保育を実践しています

保育方針や保育目標を念頭に置いて広い園庭で体を動かし、健康づくり（からだ、こころ）、豊かな仲間づくり、素足保育と着る習慣化を実践しています。自然が多い環境の中で戸外遊びを中心にした保育を行い、特色ある保育活動によって子どもたちの心身の成長をはぐくんでいます。外部専門講師による健康体育やわらべうたを取り入れ、伝承文化である和太鼓にも取り組んでいます。わらべうたの心地よい歌声や、歌詞からも豊かな情操がはぐくまれ、子どもたちの心と体がバランス良く成長しています。そして集団生活を通じて社会性を培っています。

子どもたちの創造性あふれる製作物を園内に設置し、創作意欲をさらに高めています

園内には子どもたちが感じたことや想像したことを自由に表現した製作物が多く見られます。幼児クラスの誕生表は、自分の体を紙で製作して顔を描き、子ども一人ひとりの創造力と個性が感じられる作品になっています。毎年卒園制作として取り組む額縁制作では、園のお便りなどを掲示する連絡ボードの額縁を作り玄関に設置したり、窓に設置した額縁には近隣の目隠しとなるよう子どもたちの絵を飾ったりするなど、園内で生かす工夫がなされています。子どもたちは日々これらの作品を目にすることで刺激を受け、製作活動に意欲的に取り組んでいます。

さらなる取り組みが期待される点

職員が将来の目ざす姿を描ける、キャリアパス制度の早期策定を期待します

キャリアパスに関する認識が従来は不足していましたが、令和4年度からの中期計画に取り組み計画が記載されました。今後、目ざす職位や職務に到達するために必要な経験、資格、能力、道筋などを示すキャリアパスの全体像を示していく必要があります。現在は詳細を検討していますが、既に策定している職務等級定義や研修計画、実施している個人研修計画/振り返りシート、年間2回の個別面談については内容を精査してキャリアパス制度と連動させると良いでしょう。職員は将来の姿を描き意欲向上につながっていきます。今後の進捗に期待します。

地域貢献できる子育て支援の発信基地として、ニーズに合った取り組みを期待します

昨年度はコロナ禍であったため実施状況が縮小され、子育て情報誌『こんにちは！つぼみ保育園です』を年9回発行しましたが、出前保育は2回、育児講座は1回の開催となりました。園内の委員会では地域貢献できる子育て支援の発信基地として、感染防止対策を講じながら地域の保育ニーズに合った今年度の取り組みを検討しています。保護者の悩みなどをリサーチし、保護者に寄り添った内容を企画し、園内だけでなく、ボランティアなども含めた地域資源の活用も視野に入れ、半日体験、小中高生育児体験、子育ての相談などの充実を目指しています。

働き方改革には、業務見直しとスキルアップの両面で取り組むと良いでしょう

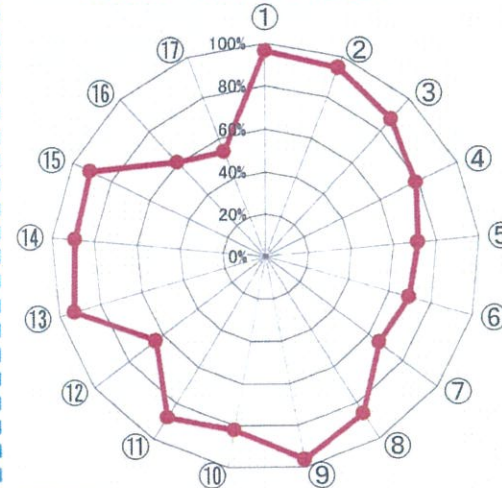
園は働き方改革に取り組み、適正なワークライフバランスとなることを目指しています。職員自己評価の自由意見の中には、勤務時間内に仕事が終わらずに残っている職員がいることが指摘されています。NO残業デーを設定し、有給休暇の取得促進、業務効率を上げていくためのICT化、行事の見直しなどに着手し、さまざまな改革に取り組んでいます。成果についてはもう一歩の所だと認識しています。結果を出していくためにも、業務一つひとつの見直しと職員のスキルアップの両面において、新たな基準や指標を定め取り組んでいく事を期待します。

利用者アンケート結果概要

実施期間：2022年7月5日(火)～2022年7月19日(火) 回収率：34.1%

※8月2日到着分まで集計

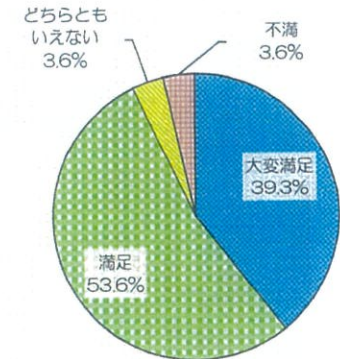
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）

※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

お忙しい中、アンケートの提出にご協力頂きありがとうございました。

第三者評価で頂いたご意見は保護者の皆さまとの関係をより一層深められる貴重な機会と捉え、保育の質の向上と、お子さんを安心して預けて頂ける保育園づくりに努力してまいりたいと思います。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

